

2019年12月23日

各 位

会 社 名 株式会社ニューフレアテクノロジー
代 表 者 名 代表取締役社長 杉本 茂樹
(コード番号 6256)
問 合 せ 先 取締役総務部長 下道 卓也
(TEL. 045-370-9127)

HOYA 株式会社による当社株式に対する公開買付けに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年12月13日付でHOYA株式会社（以下、「HOYA」といいます。）より公表された、当社の普通株式に対する公開買付け（以下、「HOYA 公開買付け」といいます。）の開始予定に関し、現時点における当社の見解を以下のとおりお知らせ致します。

2019年12月13日、HOYAは、HOYA 公開買付けの開始予定に関する公表を行いました。HOYAによる公表内容は、HOYAが同日付で公表した「株式会社ニューフレアテクノロジー株式（証券コード：6256）に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」（以下、「本HOYA プレスリリース」といいます。）をご参照ください。また、HOYAは、同日付で、当社に対し、本HOYA プレスリリースにおいて公表された内容によるHOYA 公開買付けの提案を行いました（以下、「本HOYA 提案」といいます。）。

HOYA 公開買付けの開始予定に関する公表は、東芝デバイス&ストレージ株式会社（以下、「TDSC」といいます。）による当社の普通株式に対する公開買付け（以下、「TDSC 公開買付け」といいます。）の公開買付け期間中に、当社に対する事前の具体的な協議なく行われたものです。この点、本HOYA プレスリリースによれば、HOYA 公開買付けの公開買付け価格は、一株当たり12,900円とする予定であるとされており、TDSC 公開買付けの公開買付け価格を1,000円上回ります。もっとも、HOYA 公開買付けは、TDSC 公開買付けが成立していないことがその開始の前提条件の一つとされているところ、現時点では、TDSC 公開買付けの成否は確定しておらず、かかる前提条件が充足されるかどうか明らかではありません。また、HOYA 公開買付けは、その買付け予定数の下限を7,634,000株（所有割合：66.67%）とし、当社株式6,000,100株（所有割合：52.40%）を保有するTDSCがHOYA 公開買付けに応募することが前提となっているところ、TDSC及びその親会社である株式会社東芝は、2019年12月20日、TDSC 公開買付けの成立を目指す方針に変更はなく、TDSCがHOYA 公開買付けに応募しない方針とすることを同日開催の取締役会において決議した旨を公表しております（詳細については、株式会社東芝が2019年12月20日付で公表した「（開

示事項の経過) 当社子会社(東芝デバイス&ストレージ株式会社)による株式会社ニューフレアテクノロジー株式(証券コード 6256)に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」をご参照ください。)。このような状況を踏まえ、当社といたしましては、現状においては、HOYA 公開買付けの条件や公開買付者の意向等に変更がない限り、HOYA 公開買付けは実現可能性が乏しいものと判断しております。

したがって、当社は、引き続き TDSC 公開買付けの成否を注視し、上記の前提条件の充足の有無等に係る見通しがより明らかになった段階で、HOYA 公開買付けに対する意見を表明することとし、本日開催の取締役会において、当社の取締役 10 名の内、森裕史氏及び井上壮一氏を除く、審議及び決議に参加した全ての取締役の全員一致において、その旨を決議いたしました。また、当該取締役会に出席した監査役の安部仁則氏は、上記決議に異議がない旨の意見を述べております。なお、当該取締役会の審議には、TDSC を含む東芝グループ又は東芝機械株式会社の役職員を兼務する取締役の森裕史氏及び井上壮一氏並びに監査役の野路俊也氏及び川越洋規氏は参加しておりません。

なお、TDSC 公開買付けに関しては、当社は、本日開催の取締役会において、TDSC において TDSC 公開買付けの公開買付期間を 2020 年 1 月 16 日まで延長し、合計 40 営業日とする手続きがとられることを前提に、引き続き同公開買付けに対して賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様が同公開買付けに応募することを推奨する旨の意見を維持することを決議いたしました。詳細は、当社公表の 2019 年 12 月 23 日付「(変更) 「支配株主である東芝デバイス&ストレージ株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」の一部変更について」をご参照下さい。

以 上